

議会だより



- がんばる人インタビュー…………… 2
- 議会と語ろう会…………… 3
- 令和5年度一般会計予算…………… 4
- 3月補正予算…………… 6
- 常任委員会報告…………… 7
- 議案一覧…………… 9
- 討論概要……………10
- 副議長挨拶 議員構成表……………11
- 現地視察……………12
- 町のトピックス……………13
- 一般質問……………14
- 湖開きと山開き……………20

がんばる人【シリーズ第5回】

テーマパークのダンサーからピザ屋へ転身
ピッツァレストラン「ウッディパパ」

加藤 ^{つよし}剛さん ^{みき}実喜さん



マルゲリータ (1,230円)



27号線を小浜方面へ。美方高校グラウンドを左折してすぐ。

議会の課題

住みやすい環境整備
(こどもの遊び場・地域交流)



シリーズ第5回 **がんばる人**
美浜の人に **美味しいピザを**

千葉のテーマパークでダンサーをしていたご夫婦
奥様の両親からお店を継がないかと誘われ一大決心
10年間シェフ修行の末 気山の地にピザ屋を開業



店内はテーブル席のほか小座敷が3つあり家族連れでにぎわう。

Q: お店を始めたきっかけは?
A: 2人ともダンサーの仕事をしていましたが、妻の両親にお店をたまたむから継がないかと声を掛けられ、実家の静岡に戻りイタリアンの店などで10年ほど修行をして開店しました。

Q: コロナのときは大変だったのでは?
A: お店を始めて間もなくだったもので、開けられなくなって不安でした。でもテイクアウトに切り替えて乗り越えることができました。

Q: 「ウッドイパバ」はどんなお店ですか?
A: 周りの自然豊かなロケーションを活かした造りで、お店の建物は築15年ですが、曾祖父の古民家の梁を再利用しています。経営して3年になりましたが親の代(肉料理店)から

の常連さんが来られると懐かしいと喜ばれます。

Q: 子育てもあり大変なのは?
A: 母にはお店が忙しい時に手伝ってもらい、父は子供を見てくれているので安心して仕事に専念できます。

Q: 将来の目標は何でしょうか?
A: このロケーションを活かし、食事だけでなく外で親子が安心して遊べる場所を作りたいです。庭に遊具を設置して地域の人たちと交流できる場が出来ればと考えています。

Q: この美浜町で何かやりたいことはありますか?
A: 東京で踊っていた経験を活かして、シニアの方に「脳トレダンス」や誰にでも簡単にできるダンスをお伝えできればいいですね。町長さんとも一緒に踊りたいです。

奥様の明るい人柄がお客様を呼ぶ。店内はご主人のセンスあふれるインテリア。



飾らないご夫婦にファンも多くいつでも盛況。テイクアウトも有り。





議会と語ろう会

◎講演会

テーマ

「町村議会議員のなり手不足問題と 今後の地方議会のあり方」

講演：河村和徳准教授（東北大学大学院情報科学研究科）

1月29日に「議会と語ろう会」を開催しました。河村和徳・東北大学大学院情報科学研究科准教授を講師に招き「町村議会議員のなり手不足問題と今後の地方議会のあり方」をテーマにした講演、町民との意見交換を行いました。

地方議会は民主主義を維持継続していくために必要なものです。

歴史的な背景として、県議、市議の報酬には生活給的要素が含まれていましたが、町村議には生活給的要素がありませんでした。

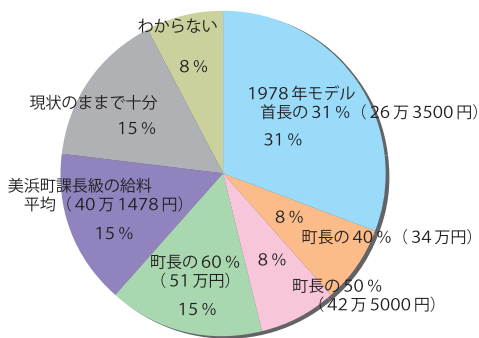
全国の地方議会の「なり手不足」が深刻になる中で、町村議選の無投票率は高くなり、立候補者がいない選

挙も出てきています。

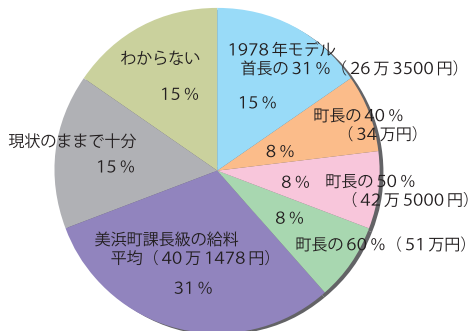
学生から「絶対にやりたくない」と言われるような、そもそも職業としての選択肢に入らないままでは、議会を維持継続させることは困難だと思います。

地域民主主義を支える代表者として、優れた人材を確保するためには、生活給的要素や報酬の引き上げについて、みんなで考える時に来ていると思います。

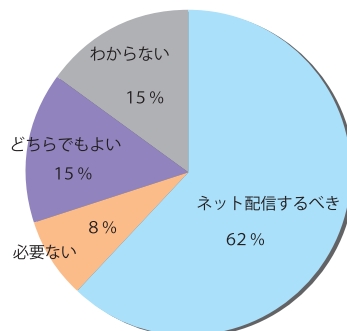
現職議員の状況を見て、報酬モデルはどれぐらいがよいと思いますか？



将来の議員のなり手について、多様な有能な人材を確保する立候補しやすい環境整備。また、若者・女性・障がい者などの人材が自立して議員活動していきける（専門性の高いプロ化）報酬モデルは、どれぐらいがよいと思いますか？



本会議や各委員会のライブ放送、録画動画をネット配信するべきですか？



予算総額

118億5,976万円

一般会計 75億5,289万円 / 特別会計 39億969万円
企業会計 3億9,718万円

土木費

歳出予算額 3億2,997万円 構成比4.4%

・道路維持事業 3,448万円

安全で円滑な交通基盤を確保し、住民の利便性、快適性を向上させるとともに、観光ルートや景観を含めた道路整備を実施

消防費

歳出予算額 3億3,618万円 構成比4.5%

・敦賀美方消防組合負担金等 3億102万円

敦賀美方消防組合の運営経費を負担するとともに、各地区に設置された消火栓の改良・修繕を行い地域防災力の強化を図る。

・消防施設整備事業 836万円

新しくできた「美しの区」の消防器具庫及び付属施設を整備

教育費

歳出予算額 10億5,810万円 構成比14.0%

・総合運動公園改修事業 1億605万円

総合運動公園の屋外施設は供用開始から33年、総合体育館は20年が経過し、経年劣化に伴う計画的な改修工事を行う。

・給食センター施設設備等更新事業 3,937万円

更新計画に基づき、給食センターの厨房機器や施設整備等を更新する。

議会費

歳出予算額 9,861万円
構成比1.3%

・議員報酬等 6,557万円

公債費

歳出予算額 5億4,453万円
構成比7.2%

・令和5年度中償還見込額 5億1,286万円

労働費

歳出予算額 3,294万円
構成比0.4%

・シルバー人材センター運営費補助金 784万円

予備費

歳出予算額 2,000万円
構成比0.3%

・令和5年度予備費 2,000万円

令和5年 第1回美浜町議会臨時会

今回の一般会計予算は町長選挙が行われたため必要最小限の経費と継続事業の一部を計上した「骨格予算」となっています。



総務費

歳出予算額 16億2,321万円 構成比21.5%

・庁舎改修事業 3億3,990万円

平成4年の落成から30年が経過し、経年劣化に伴う内外の修繕箇所が増加している役場庁舎において、第1期の改修工事を実施

・デマンド交通実証運行事業 5,134万円

これまでのコミュニティバス運行方法・形態を見直し、気軽に乗降できる仕組みを実証運行する。(30分前の予約でお家までお迎え、町内200円の運賃で運行など。(詳しくは町のホームページで)



民生費

歳出予算額 15億4,336万円 構成比20.4%

・児童手当支給事業 1億1,560万円

0歳から中学校修了まで児童を養育している保護者に対して手当てを支給

・出産・子育て応援交付金給付事業 351万円

妊娠届出時及び出生届出時にそれぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を支給



衛生費

歳出予算額 12億9,615万円 構成比17.2%

・廃棄物処理広域化事業 1億4,406万円

一般廃棄物の広域化により、敦賀市との共同処理を行い、施設の維持管理や廃棄物処理に係る経費の低減を図る。



産業林水費

歳出予算額 4億6,324万円 構成比6.1%

・スマート施設園芸拡大推進事業 1億5,749万円

平成28年度に整備した自然光とLED照明を活用した大規模園芸ハウスに続いて新たにスマート大規模園芸ハウスの増設の支援。



商工費

歳出予算額 2億659万円 構成比2.7%

・若狭美浜観光PR事業 1,642万円

自然や食など町の魅力を全国に発信し、北陸新幹線敦賀開業に向けた誘客プロモーションを戦略的かつ効果的に展開

令和5年第2回美浜町議会定例会

令和4年度 3月 一般会計補正予算額

6,574万1千円

(予算総額109億7,191万3千円)

— 基金積立金 —

① 総務費：役場庁舎改修基金積立金 2億5万2千円

役場庁舎の長寿命化及び住民サービスの向上、防災拠点としての機能強化を図ることを目的として、令和5年度から実施する庁舎改修工事に向け、必要な資金を積み立てる。

② 総務費：ふるさと応援基金積立金 7,448万7千円

ふるさと納税寄付金を、将来像の実現に向けた施策の推進に活用するため、ふるさと応援基金に積み立てる。

③ 教育費：地域愛を育むひとづくり推進基金積立金 (新規事業) 1億2,000万円

地域愛を育み、自らを高め、夢を実現するひとづくりに資することを目的とした、教育施策の推進並びにその施策に関わる町内教育施設の整備及び改修等に必要となる資金を積み立てる。

④ 教育費：給食センター施設等維持補修基金積立金 (新規事業) 8,780万8千円

町の未来を担う子供たちの学校給食を安定して提供するための町給食センターの施設、整備等の維持補修及び学校給食運営に必要な備品等の更新に必要な資金を積み立てる。

常任委員会の動き

2月臨時会では、予算決算常任委員会に議案13件、3月定例会では、予算決算常任委員会に議案7件、総務文教委員会に議案6件、産業厚生常任委員会に議案7件が付託され、詳細な審議を行いました。

詳細な内容は議会ホームページをご覧ください▶

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>



2月臨時会

予算決算 常任委員会

議案第2号 令和5年度

一般会計予算

問 歳入予算額に占める原
子力関係の割合はどれ
くらいか。

回答 当初予算ベースでは歳入
見込み額は29億49
00万円で、町税総額の73
48%である。

問 普通交付税がゼロとい
うことは財政指数が1を超
えるということか。

回答 令和4年度の実績が
1.06であることを
踏まえると令和5年度もその
値に近いものとなる。

問 「移住定住促進事業」
1140万円であるが
それぞれの補助には所得制限
があるのか。

回答 所得制限があるのは、
国の補助金による結婚

新生活支援事業であり、現在
国の補助金30万円に町費10万
円を上乗せしているが、この
上乗せを止めて所得制限のな
い制度を6月補正予算に向け
て考えている。

意見 U・イターン移住就職
等支援金も所得制限が
あると思うが、所得の多い人
でも移住してくれば税収面
でも町にメリットがある。こ
れらの事業も所得制限の緩和
を考えてほしい。

問 「音声告知放送等管理
事業」2946万円で
あるが、音声告知端末を撤去
するのにこれだけ多額の費用
がかかるのか。この金額は端
末の撤去と処分費なのか。

回答 町内に3000軒弱の
端末等の撤去費用と処
分代である。端末機設置は補
助対象だが、撤去は対象外な
ので一般財源になる。

意見 1台の撤去に1万円は
高すぎる。端末機を集
めて渡すだけなら他に方法が
あり、撤去費用が安くなるよ

う努力を願いたい。

問 「美浜ふるさと納税推
進事業」の9314万
円は寄付見込み金額
1億5000万円では現状維
持に見えるが増やすべきでは
ないか。

回答 ふるさと納税が伸びて
いる自治体は中間業者
を挟みしつかり対応してい
り、新たな返礼品の開発を積
極的に行っている。今後それ
らを踏まえて納税額を上げて
いきたい。



問 「病児デイケア促進事
業」415万円である
がこれは敦賀市との事業で美
浜町の利用者が少なかった
が、改善しているのか。

回答 令和3年度の実績は2
名だったが4年度は12
月現在で17名の利用があり、
保育園等にチラシを置き周知
を図った。

問 「若狭美浜観光PR事
業」1642万円だが、
経費としてマネージャー派遣
負担金1000万円とある
が、これは何か。

回答 旅行会社の社員など外
部人材の派遣を受け、
PRや着地型旅行商品の開
発、県内外の営業強化のため、
大手旅行会社から社員を1名
派遣してもらい、派遣元に支
払う形を想定している。

問 「老朽危険家屋等対策
事業」364万円だが
補助対象は民家だけで蔵や納
屋は入っていないのか。

回答 蔵や納屋は除外してい
る。民家以外も補助す
べきとの意見も多くあり、今
後検討を進める。

3月定例会

予算決算

常任委員会

議案第15号 令和4年度美浜町一般会計補正予算(第7号)

問 庁舎防災機能強化事業及び保健福祉センター防災機能強化事業の非常用発電機設備設置工費がそれぞれ5500万円減、5400万円減となっているが、理由は。

回答 概算設計で予算計上していたが、実施設計の段階で精査した結果、工費が減額となった。

問 住民非課税世帯等に対する臨時特別給付金を1220万円減額した理由は何か。

回答 個人で非課税となった方は約130人、転入者は70世帯、家計急変者は約15世帯の合計215世帯で予算計上したが、実績は93世帯であった。個人の非課税者で抽出をしたため差が出た。

問 「民宿等活性化事業」の対象事業者数と今年度の支援実績はどのくらいか。

回答 対象事業者数は39事業者で今年度の実績は6事業者である。

総務文教

常任委員会

議案第29号 美浜町給食センター施設等維持補修基金条例の制定について

問 基金を積み上げる目的として、給食センター施設設備等の維持補修及び運営に必要な備品等の更新に必要な資金を積み立てるとあるが、基金の使い道は何か。

回答 令和5年度については、残菜を処理するシステムに基金を充当し、それ以降に関しては、空調の換気設備等の基金に充当を考えている。

議案第30号 地域愛を育むひとづくり推進基金条例の制定について

問 基金を積み上げる目的として、教育施策の推進並びにその施策に関わる町内の教育施設の整備及び改修等に必要な資金を積み立てるとあるが、運動公園の改修工事は目的に合っているのか。

回答 今回の基金条例については、総合振興計画、教育大綱、教育振興計画を勘案しながら条例化したもので、運動公園も生涯スポーツの振興と言う観点でいくと、教育大綱に該当し、目的に合うものと考えている。

産業厚生

常任委員会

議案第23号 美浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び美浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 町内3つの保育園については、改正内容の安全計画の策定等、保護者への周知、職員研修・非常時の訓練が含まれているのか。

回答 児童福祉施設の設備及び運営については市町村の条例で基準を定めなければならないと児童福祉法で決められていることからすべて網羅されている。

議案第24号 美浜町放課後児童健全育成事業の設置及び運営に

関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 改正内容に職員研修や訓練の実施等とあるがどのようなことを行うのか。

回答 児童クラブの運営に係る子供の安全と衛生管理の研修で、訓練とは避難訓練のことである。

問 美浜の児童クラブには「みなし支援員」がいるのか。

回答 令和4年度は美浜町内にはいない。5年度についても今のところいない状況である。

議案25号 美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 国の健康保険法によって改正される出産育児一時金は全額国庫補助なのか。

回答 地方交付税に当たるが、3分の2が町の拠出負担、3分の1が国民健康保険から負担する。

問 出産育児一時金48万8000円は、各自自治体で増減可能なのか。

回答 国の政令で定められており、住民に支給する場合には、町の条例で規定されているが町の裁量で条例改正可能と理解、解釈できる。

2月臨時会 / 3月定例会 議案

2月臨時会は議案1件、3月定例会では議案1件と同意1件、諮問2件、発委1件が最終日に提出されました。

第1回 美浜町議会臨時会 議案一覧

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度美浜町一般会計補正予算（第6号））	予算決算	可決	P4・5・7・10
議案第2号	令和5年度美浜町一般会計予算		可決	
議案第3号	令和5年度美浜町診療所事業特別会計予算		可決	
議案第4号	令和5年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算		可決	
議案第5号	令和5年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算		可決	
議案第6号	令和5年度美浜町介護保険事業特別会計予算		可決	
議案第7号	令和5年度美浜町簡易水道事業特別会計予算		可決	
議案第8号	令和5年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算		可決	
議案第9号	令和5年度美浜町公共下水道事業特別会計予算		可決	
議案第10号	令和5年度美浜町産業団地事業特別会計予算		可決	
議案第11号	令和5年度美浜町住宅団地事業特別会計予算		可決	
議案第12号	令和5年度美浜町道路用地取得事業特別会計予算		可決	
議案第13号	令和5年度美浜町上水道事業会計予算		可決	
議案第14号	財産の交換について		—	

第2回 美浜町議会定例会 議案一覧

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第15号	令和4年度美浜町一般会計補正予算（第7号）	予算決算	可決	P6・8・10
議案第16号	令和4年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第2号）		可決	
議案第17号	令和4年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		可決	
議案第18号	令和4年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）		可決	
議案第19号	令和4年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算（第3号）		可決	
議案第20号	令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）		可決	
議案第21号	令和4年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算（第1号）		可決	
議案第22号	美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決	
議案第23号	美浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び美浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決	P9
議案第24号	美浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第25号	美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第26号	美浜町観光センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	
議案第27号	美浜町個人情報保護法施行条例の制定について		可決	
議案第28号	美浜町個人情報保護審査会条例の制定について	総務文教	可決	
議案第29号	美浜町給食センター施設等維持補修基金条例の制定について		可決	P9
議案第30号	地域愛を育むひとづくり推進基金条例の制定について		可決	P9
議案第31号	美浜町集落排水処理施設整備事業基金条例の制定について	産業厚生	可決	
議案第32号	敦賀市と美浜町の間の学齡児童及び学齡生徒に係る教育委員会の権限に属する事務の委託の廃止に関する協議について	総務文教	可決	
議案第33号	美浜・三方環境衛生組合規約の変更に関する協議について	産業厚生	可決	
議案第34号	美浜町道の駅若狭美浜はまびよりの指定管理者の指定について		可決	P10
議案第35号	美浜町課設置条例の一部を改正する条例の制定について	—	可決	
同意第1号	美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	可決	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	可決	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	可決	
発委第1号	美浜町議会の個人情報の保護に関する条例について	—	可決	

※略称 <予算決算>……予算決算常任委員会 <総務文教>……総務文教常任委員会
<産業厚生>……産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成×反対一欠席□退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	川畑	松下	崎元	藤本	竹仲
議案第2号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第15号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第30号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第35号	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○

討論概要

議案第2号 令和5年度美浜町一般会計予算

【反対討論】

これまで一貫して反対してきた「エネルギー環境教育体験館『きいばす』の運営事業」、「健康楽膳拠点施設『こるぱ』の運営事業」、「美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業（道の駅に係る事業）」の予算が計上されている。（河本議員）

議案第15号 令和4年度美浜町一般会計補正予算（第7号）

【反対討論】

美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業で1億726万1千円の繰越明許費がある。道の駅に係る予算を来年度に繰り越す本議案を認めることはできない。（河本議員）

議案第34号 美浜町道の駅若狭美浜はまびりの指定管理者の指定について

【反対討論】

そもそもPFI方式による道の駅建設に反対している。町民のにぎわい創出よりも事業者の利益に重点が置かれているようにしか見えない。（河本議員）

美浜町～高島市を結ぶ道路早期実現看板設置

福井県美浜町・琵琶湖北西地域道路整備促進期成同盟会は美浜町新庄から滋賀県高島市マキノ地区までをトンネルで抜ける（約6km）道路建設を目指しています。今回その推進のための看板を国道27号線沿いに2か所設置しました。議会はこの道路整備促進特別委員会を設置し6名の議員で活動を行っています。先般、滋賀県高島市議会議長、副議長と会い協議を行いました。

また、3月6日、参議院予算委員会に置いて滝波宏文参議院議員がこの道路整備について質問を行っています。

質問要旨：美浜町は嶺南地域の中で唯一県外に直接出ていく道がない原子力自治体です。美浜町から滋賀県高島市に抜けるトンネルを含む避難道。これも見通しが立っておりません。早期に整備すべきと考えますが、十分に進んでいない理由は省庁の縦割りと財政問題です。省庁を挙げて、ペースを上げて、目に見える形で期限を切って集中的な原子力避難道路整備をすべきと考えますが、総理の決意を。



国道27号線 JA 福井県みはま支店前交差点に設置した看板

総理答弁：原子力災害時に備えた避難道の整備は、原子力立地地域の住民の皆さんの安全、安心を守る観点から大変重要な課題です。先月閣議決定したGX基本方針において国が前面に立って取り組むことを盛り込んだところです。国としては内閣府、国交省、経済産業省など関係府省連携のもと避難道の整備促進にしっかり取り組んでまいります。

以上のように各方面で美浜町から滋賀県高島市への道路整備実現に向け頑張っています。



副議長「あいさつ」

美浜町議会副議長

兼田 和雄

この度、3月定例会におきまして副議長に就任させていただきました。議長を補佐し、「議会の見える化」を進めるために力を尽くす所存でありますのでよろしくお願いいたします。

今、美浜町にはいくつもの課題があります。「少子高齢化」と「人口減少」の2つがセットになった「人口問題」です。移住に手厚い保護をしても、町内に仕事があれば町に住みません。美浜町に帰ってこられません。年離れた親と一緒に住みたくても、仕事があれば帰ってこられません。それらを解決すべく美浜町に雇用を増やす産業誘致施策が必要です。

さらに美浜町と滋賀県を結ぶ道路も喫緊の課題です。災害や事故が起こった際、美浜町民は逃げ場がありません。27号線1本では渋滞で身動きできなくなるのは自明の理であります。美浜町民の命を守るためにも美浜町を南北に抜ける道路が必要です。

このような問題と向き合うため議会は町民の皆様を守る安心安全な町づくりを目指します。そして、それぞれの議員がどう活動しているか、何を課題に取り組んでいるかを皆様に伝えるための「議会の見える化」が大事な問題になってきます。議員がどんなことをやっているか町民の皆様が伝えることが町の活性化につながります。この「議会だより」の中でも町の動きや議員の動きを伝えていきます。町民の皆様と共に議会運営に取り組んでまいります。

今後とも皆様のご意見を伺い議会をより進めるため、努力を惜しまぬ覚悟でございます。よろしくお願い申し上げます。

美浜町議会構成表

議席番号	氏名	住所	常任委員会			議会運営委員会	特別委員会				組合議会				プロジェクトチーム		
			総務文教 7人	産業厚生 7人	予算決算 13人		原子力発電所 13人	議会広報 7人	地域づく り 7人	北西地域 道路整備 促進 6人	福井県美 浜町・琵琶 湖 環境衛生 組合 6人	美浜・三 方 敦賀美 方消防組 合 4人	嶺南広 域 行政組 合 2人	公立小 浜病院組 合 3人	福井県後 期高齢者 医療広域 連合 1人	議員報酬 改訂など 7人	議会DX推 進 7人
1	幸 丈 佑 馬	丹 生	◎		○		●		○				●			●	
2	兼 田 和 雄	佐 柿		●	◎		●	◎	●	●		◎	●				●
3	中牟田 春子	大 藪	●		●	●	●	○	●				◎			●	
4	上 道 正 二	興道寺		○	●		●		●		●						●
5	高 橋 修	麻 生		●	●	●	●		◎		●					●	●
6	梅 津 隆 久	菅 浜	●	◎	●		●	●			●					○	
7	河 本 猛	久々子	●		●	○	●	●				●				◎	
8	辻 井 雅 之	佐 田	○		●	●	○		●			●					○
9	川 畑 忠 之	南 市		●	●	◎	●	●			●		●				◎
10	松 下 照 幸	新 庄	●		●		●		●								●
11	崎 元 良 栄	南 市		●	●		●	●			●					●	
12	山 口 和 治	郷 市									◎		●		●		
13	藤 本 悟	新 庄	●		●	●	◎			○	●					●	
14	竹 仲 良 廣	南 市		●	●		●	●		◎		◎					●

※常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会
 ※PT（プロジェクトチーム）
 ※敦賀美方消防組合議会及び嶺南広域行政組合
 ※美浜・三方環境衛生組合
 ※公立小浜病院組合

◎…委員長 ○…副委員長 ●…委員
 ◎…リーダー ○…サブリーダー ●…委員
 ◎…代表者 ●…委員
 ◎…同組合議長 ●…委員
 ◎…常任委員 ●…委員

3月20日町内各地を現地視察しました。今回は金山住宅団地造成地、久々子海岸ごみ漂着、「菅浜わくわくかん」オープン、「早瀬ミュージアム」開館を確認しました。

金山住宅分譲地(西小前)



住宅団地整備事業を視察しました。第1期分の6区画を今年夏頃販売開始予定で進めていきます。

菅浜わくわくかん



令和5年3月28日にグランドオープン。本格的なピザ窯を持ち、明るい雰囲気の内装はオシャレな憩いの場として人気を博すでしょう。



毒性のあるフグの死がいが無数に散らばり危険な状況です。また、無数の漂着ごみが確認されました。



海岸漂着ゴミ

渡辺弘子布絵ミュージアム



令和4年5月にオープン。昔懐かしい世界が広がっています。



ふるさと美浜 元気プロジェクト



第13回地域再生大賞で美浜町内3小学校の活動が東海・北陸ブロック賞を受賞しました。地域の課題を探究して地元の人を元気づける取り組みです。また、美浜市美浜の地域愛表彰も受賞しました。

美浜町 トピックス まち角あれこれ

TOPICS

なびとしよ

お気に入りの1冊
コンテスト



3月11日に「お気に入りの一冊コンテスト」表彰式が、なびあすで行われ、243作品の応募の中から小学校・中学校・一般の3部門でそれぞれ表彰されました。読書感想を誰に伝えたいか、どこがおもしろかったかを作文にして相手に伝えるものです。

第18回 全国中学校選抜ボート大会



3月18日に久々子湖ボート場で全国大会が行われ美浜中学校から男子1名、女子2名が出場しました。



一般質問

3月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、伺いました。



かわばた ただゆき
川畑 忠之 議員

①町長が描く理想の町とは。

問

必要な対話を決していとわず、汗をかくことを惜しまず、自らに与えられた全てを捧げ、誠心誠意町政のかじ取りに臨む覚悟であると述べているが、町長が理想とする町はどのようなものなのか伺う。

町長

私も、生まれ育ったこの町が大好きで、こないだいい町はないと自負している。まちづくりの源

町長の2期目の抱負について！(町長の決意)

答 人口減少や少子高齢化対策、そして新幹線時代を見据えた観光振興と交流人口の拡大、町の豊かな経済と美しい自然と食を育む地場産業の振興、地域愛の醸成など、地域愛あふれる豊かなまちづくり、美し美浜の実現に向けて、誠心誠意、町のために尽くす所存である。

②子供たちを育てる学校教育について

問

ふるさと美浜、美浜人のよさや人口減少、空き家など、町が抱える課題について学んだ、小学校5・6年生が、課題解決策や町の活性化のためのアイデアをまとめたとお聞きしている。この取り組みについて町長の考えを伺う。

町長

私は、子供たち自らがふるさと美浜のよさと課題を、地域に向いて探求し、町民と直接コミュニケーションを図りながら、学習経験が子供たちの地域への愛着意識と地域活動への参加意識の醸成につながり、本町に元氣と勇氣を与えてくれたものと感じている。行政も、地域愛に満ちた未来図を開く人づくり、地域づくりを目指し、町の学校教育のさらなる充実と発展に取り組んで行きたい。

③道の駅「はまびより」について

問

今年6月に「道の駅はまびより」が、地域

町長

道の駅の将来については、未知の部分があるが期待を持っている。町の賑わい創出の拠点として、美浜駅から道の駅、イチゴ観光農園、生涯学習拠点なびあすまでの一帯を、美し美浜にぎわいゾーンと位置づけて、施設整備や国道や県道の整備を進めてきたところである。その核となるのが、道の駅、若狭美浜はまびよりであり、観光地へのアクセスなど、ミニハブ機能や観光PR機能、観光列車との機能連携をはじめ、町のイベント会場としての活用を想定して、複合的な相乗効果を生み出す施設として期待している。

④若狭美浜ハマベリー のイチゴについて

問

ハマベリーのイチゴを使って、スイーツ商品ができないかと考える。このイチゴをブランド化して、今後の道の駅の発展材料として考えられないのか。使い道を広げて、にぎわいの場を広げることができないのか伺う。

産業振興課長

このハマベリーは、指定管理者である㈱みはまアグリチームに管理運営をお願いしている。質問については、発展的な取組につながるよう、情報を共有したいと考える。今後、道の駅はまびよりも、イチゴを活用したメニューを検討しており、期待しているところである。

美浜町立図書館

(なびとじよ)の

現状を問う

答 まちづくりを支える施設として利活用の促進を図る

問 ぎりぎりの人数で運営しており、小浜市や若狭町に比べ体制的に弱いのではないか。

教育委員会 局長 任 正職員2名会計年度任用職員4名で1日7時間週5日勤務でのシフトを組んでいる。図書館サポーターとして「しおり部」10名の参加を得ている。1日の利用者も平均200人を数えており、蔵書も8万冊を数え、毎年4000冊の本を新しく購入している。

問 現在の図書館は少し狭いように思える。採光をもっと取り入れて、読



かねだ かずお 議員 兼田 和雄

書スペースや閲覧スペースを広げる考えはないのか。中高生の学習スペースも欲しいところだが、増設等の考えはないのか。

教育委員会 局長 なびあす全体のデザイン基調に合わせており、落ち着いた雰囲気を目指している。学習のためのスペースや談話等ができるスペースは利用者からも要望が多くあり図書館ゾーンだけでなく、柔軟な活用を考えていく。

問 利用者の偏りや移動図書館の構想はないのか。高齢者や子育てに忙しい方、学齢前や低学年児のため必要であると考え

教育委員会 局長 北西郷地区や山東地区の利用率は低いが各地区公民館を窓口とした遠隔地貸し出しサービスの周知を図る。令和5年度より利用が少ない地区の公民館を中核として移動図書館を開設できるよう準備を進める。

問 小さなころから本に親しむことが子供たちの将来性を活かし、担い手を育てることとなる。スマホ

など新しい情報ツールだけでなく本を読むことで知識のバランスが取れる。学校図書室との連携はどうか。

教育委員会 局長 小中4校合同で170万円の予算を組み蔵書も34,600冊あり嶺南市町と比べても高い水準になっている。学校用図書システムを導入して各校と町立図書館の連携を図っている。図書館司書が学校へ出向きブックトークを実施し、児童生徒の読書促進に向けた連携に取り組んでいる。

野生サルの被害について町の対策を問う

答 未収穫果樹等の誘因物の除去、猿バスター等の活動で被害軽減に取り組む

問 ここ数年急激に猿が増えている。今までははぐれ猿が一頭で来ていたものがここ数年は群れで来て

いる。山際の集落では家庭菜園を食い荒らし、人間に歯をむき出し威嚇してくる猿までいる。女性や子供が

被害にあわないか心配である。対策はとっているのか。

町長 恒久柵の設置によりイノシン、鹿の被害は減っているが猿の被害は増加している。嶺南地域の隣接市町と連携しながら被害軽減策を強化していく。

産業振興課 長 平成10年に嶺南地域有害鳥獣対策協議会をつくり情報共有にあたっている。猿用の囲い罾を大敷、菅浜、太田、和田、新庄の5基設置して、今年さらに1基設置する予定である。要請のあったところは小型捕獲檻の設置も随時行っている。また猿バスターとして7集落に活動いただいている。

問 猿の生息数の調査は行っているのか。町内の罍免許取得者数はどうなっているか。

産業振興課 長 美浜町には6群確認されており、今年群れの個体数調査を行っている。罍免許取得者は町内に51名おり、実際に罍を設置して有害獣の捕獲をする捕獲隊員は36名になっている。広報誌やホームページで罍

免許取得者を増やす方向で講習会費用の助成も行っており負担軽減を図っている。他地域では捕獲した雌猿に不妊手術を施しているところもあると聞く。自然減を図るとのことだ。また捉えた経験豊富なリーダーの雌猿をあえて逃がすとも聞いている。リーダーがいなくなると群れが分裂して、逆に被害が増えるともいわれている。そのところはどうか。

意見 猿は現状、保護動物ではないため避妊手術は行っていない。県の事業計画に基づき捕獲檻等の捕獲を実施している。

意見 猿の被害にあっている地域に実際に暮らす人たちは非常に切実な問題である。高齢化が進んでうちの中で暮らす住民が増えてきている今、猿はいつでもどこからでもやって来る。屋根瓦を壊したり、樋を壊したり、開けっ放しにしていたら家の中まで入って来る。地域の住民を守るためにも徹底した対策を講じてほしい。

一般質問

3月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただきました。



なかもたほるこ 議員
中牟田 春子

介護の現状認識と課題解決について

答 介護保険等の公的サービスの充実と「健やかで温もりあふれる地域づくり」

問 介護保険の負担額の増加や介護人材の不足、介護難民などが心配される中で、今後どのような問題や課題が生じてくると想定しているのか。

町長 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける上では介護保険等の公的サービスの充実とともに、町民一人ひとりの主体的な健康づくりの取り組みや見守りをはじめとした地域みんなで支え合う取り組みがかかせない。

健康福祉課長

今年度より、介護人材の発掘・定着に向けて、町内の介護事業所に就職し、継続的に就業して貰うための奨励金制度を導入している。

また原油価格及び物価高騰の影響が及ぶ町内の福祉事業所等の負担軽減を図り、安定的なサービスの提供を確保するため、電気料金及び燃料費の上昇額の一部を補助している。

地域づくりによる介護予防の推進について

答 住民主体の「通いの場」を通じて、地域みんなで介護予防に取り組むことが重要である。

問 介護保険の被保険者の負担が、増加していくことが想定されることから、自宅でも最期まで健康に過ごすことができるように、地域住民が主体となって行う介護予防を広く展開し、参

加者や通いの場が継続的に拡大していくような介護予防の推進が必要と考えるが、認識を伺う。

健康福祉課長

高齢者の健康づくりと社会参加を促進するため、令和3年度より「地域あいあいポイント事業」を実施しており現在では、住民主体の介護予防自主グループが17団体できると、地域での活動の輪も徐々に広がっている。

意見

単に運動機能などの改善だけでなく、心身機能の改善や生活機能、そして社会参加への意欲向上を図り、個人の夢や目標の実現を応援するための、介護予防運動の展開でなければならぬと考える。



在宅医療・介護連携の推進について

答 医療と介護の両方のケアが必要になっても、高齢者が安心して自宅での生活を継続できるように在宅医療・介護連携体制の整備を一層進めていく。

問

厚生労働省が2012年に発表した「在宅医療・介護の推進について」によると無作為に抽出されたアンケートに応じた国民の約60%以上は、自宅での療養を望んでいる。

町の「第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」には、「要介護者」では、在宅医療を利用して自宅での生活を継続したいと「思う」人が50.7%。「一般高齢者」では、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なサービスとして「通院などの送迎」が56.1%。「自宅でも治療を受けられる在宅

医療」が50.0%。と記載があるが、町の在宅医療・介護連携はどのように進んでいるのか伺う。

健康福祉課長

本町の取り組みとしては地域の医療・介護に係る資源の把握や関係者の研修、町民への普及啓発等をしている。また医療と介護の専門職の連携推進を図るために、顔の見える関係づくりを目指し、多職種連携研修会を開催するとともに、「介護・医療サービス資源マップ」を作成し、広く町民や事業に配布している。

意見

「第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の結果から想定すると、在宅医療・介護の需要は増えることが考えられる。高齢者が安心して自宅での生活を継続できるように在宅医療・介護の連携体制の整備を一層推進することが必要と考える。

町政を問う！



たけなか よしひろ
竹仲 良廣 議員

コロナ感染症による病院の面会制限緩和は
院内の感染リスクから当面は無理

問

病院での受け入れに
対して、コロナ感
症以外の患者に
対して、コロナ感
症の場合でも、
付き添いや面
会ができない
のが現状だ。
このあたりの
制限緩和はで
きないのか。

健康福祉課長 コロナ以外の入院患
者への面会につ
いては、家族にと
って大切なこと
であり、不安や
孤独を感じる入
院患者にとつ
ても、非常に重
要であると思
えるが、各病
院での診療体
制を維持する
ことは、自
院の患者や医
療従事者を
守るためであ
り、面会等の
制限は、病院
としての責務

参考

下、院内での感染リスクを
可能な限り低減させるため
の取り組みであると理解し
ている。

福井県の各病院は3
月27日より全面禁止
としていた入院患者との面
会を時間・人数を制限した
上で、再開した。福井県立
病院、福井済生会病院、福
井大学病院、福井赤十字病
院は家族2人程度までで、
午前9時から午後5時まで
の10分程度の面会ができる
ようになった。敦賀市立病
院も3月14日から条件付き
で面会を再開している。

問

急性期の患者で一定
の入院で退院になる
人はまだ良いが、慢性疾患
や終末期患者の場合などで
在宅を希望する人のための、
在宅医療、往診体制は美浜
町ではどのような状況か。

健康福祉課長 町内全ての医療機関
では、地域のかかり
つけ医として希望さ
れる在宅の患者へは定期的
な訪問診療が提供されてお

問

今後、在宅医療、在宅
看護、往診の重要性が
高まってくると考えるが、
美浜町内で体制をどのよう
に構築していくのか。

健康福祉課長 本町の在宅医1人当
たりの在宅患者数は
5.5人。訪問看護師
1人当たりの在宅患者数は
11人となっており、デー
タ上の数字で見ると限りでは、
利用者のニーズに応じた在
宅サービスは提供されてい
る。また、丹生診療所にお
いて、県のICTを活用し
たオンライン診療実証事業
による遠隔診療を試験的に
行っており、実際に患者が
丹生診療所でタブレット等
を使って専門医の診察を受
けていただくなど、情報通
信技術を使った新たな取組

問

各戸への電気代や
原子力交付金の額
を増額要請しては
価格の変更の見直し
を国へしっかりと要望する。

まちづくり推進課長 再稼働による交付金額
については、原子力発
電施設等立地地域基盤
整備支援事業交付金交付規則
において、25億円を超えない
範囲において、経済産業大臣
が決定する額と規定されてい
る。なお同規則により、交付
の対象は、福井県に交付され
ることとなっている。また、
年に5億円を超えない範囲で
交付との基準がある。

問

町民の絶大なご理解の
もと、美浜3号機が再
稼働することができたと考え
る。日本の電気エネルギー危
機を救っているのは事実と考

町長

この交付金の算定基準
は、設備能力のほか、
昭和56年及び平成4年以降に
新增設が行われた施設に係る
割増措置を考慮しているのみ
で、30数年来、その状況は変
わっていない。
町民の皆様の御理解と御協
力の下、国内で初めて40年を
超えて原子力発電所が運転さ
れたこと、さらにはこれまで
長期にわたり国策に協力をし
てきたこと等の実情を考慮し
た本基準の見直しを、これは
国にしっかりと要望する。

一般質問

3月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただきました。



河本 剛 議員

職員が能力を発揮するためにはモチベーションの維持・向上が不可欠！

答 地域の人のために思いを抱くことがモチベーションの醸成につながる

問

行政職員が十分な能力を発揮するためには、モチベーションの維持・向上が不可欠。人事評価を通じて職員が個性や特性に応じ、やりがいを感じながら活躍できる環境を整えることが町行政の組織的なパフォーマンス向上につながるかと考える。町長の考えを伺う。

町長

自分が何のためにこの仕事をやっている

んだということを職員一人一人が意識を持つこと、町のために、地域の人のために我々はこうするんだという思いをしっかりと抱くことがモチベーションの醸成につながると思っています。



障がいのあるなしに関わらず対応できるシステムの導入が必要！

答 全ての人がデジタル化の恩恵を享受でき、誰一人取り残さない取り組みを進める

問

自治体DXの中で、障がいのあるなしに関わらず、常に対応できるシステムを導入していくことが必要である。体の不自由

な方、難聴・色弱の方が利用しやすいシステムを導入することも、住んでいることに幸せと誇りを実感できるまちづくりにつながるかと考えるが、町長の考えを伺う。

町長

デジタルトランスフォーメーションを推進していく上では、多様な環境やニーズを踏まえて、全ての人がデジタル化の恩恵を享受できる、誰一人取り残さない取り組みを進め、住民の皆さんの幸福度を上げていくことが重要と考えている。

一方でデジタル技術の活用は、視覚や聴覚等に障がいのある方のコミュニケーションや情報取得の支援、疾病等による理解や認知などの困難をカバーするという点で大きな可能性がある。美浜町情報化推進計画にも示しているとおり、単なる

デジタル技術の導入ではなく、それまで実現できなかった、新たな価値やサービスが創出される各分野での変革を図り、住民の幸福度を上げるという視点から、引き続き情報化社会を推進し、住んでいることに幸せと誇りを実感できるまちづくりにつなげていきたい。

手話言語条例について、実現をめざす目標に入っているか！

答 手話言語条例を1つの契機とし、健やかでぬくもりある地域づくりを進めたい

問

昨年12月の一般質問で取り上げた手話言語条例について、今後の4年間で実現をめざす目標として町長の考えの中に入っているかどうか伺う。

町長

全ての町民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる、みんなが支え合う地域福祉の実現が求められている。聴覚をはじめ、障がいのある方の情報取得やコミュニケーション支援を行うことは、みんなが支え合う地域福祉の第一歩であることから、令和5年度当初予算に条例制定に係る検討委員会の経費を盛り込み準備を進めているところである。

手話言語条例を1つの契機とし、障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者まで、誰もが健やかでぬくもりある地域づくりを進めていきたい。



町政を問う！



うめづ たかひさ
梅津 隆久 議員

問 第5次美浜町総合振興計画（後期基本計画）の中で「はあとふる体験事業の推進」として「体験型観光の充実を図る」との目標達成に向け「頑張る地域の活力は町の発展に繋がる」と町長は、述べられている。菅浜区では区民を上げて体験事業等実践中であるが、中山間地2箇所についてはトイレが無いことから、お客様の誘客に支障をきたし、地域の解決課題

答 体験型観光受入れ関係者と意思疎通を図りながら必要な取組を進めていく。



となつている。行政の所見と対応についてお伺いしたい。

町長 平成16年から事業として開始し、中高生を受け入れて一次産業の重要性と美浜のすばらしさを知って頂くうえで、有効な事業と考える事から積極的に支援して行きたい。

観光戦略課長 観光施設のトイレは、お客様のおもてなし環境としては大変、重要と認識している。

今後の受入れ施設の展開や受け入れ計画等、伺いながら検討してまいりたい。

**敦賀半島西海岸
道路景観保全に
ついて**

答 誰もが訪れたくなる町づくりとして、美しい海・浜や道路景観保全を図る。

問 観光の充実として町長の施策に「地域愛あふれる豊かな町づくり」を掲げ「接客意識の醸成を図る」としているが、町道白木線の急傾斜法面での落石防止未対策・ガードレールの損傷や劣化箇所の放置・路面の陥没やアスファルトのヒビ割れ・センターラインの劣化等が激しいことから安全性の向上と接客意識の醸成を図る考えはないのか。また、道路周辺の除草・法面の雑木等の伐採やガードレール海岸側の除草も確実に景観確保に努めるべきと考えるが町の見解をお聞きしたい。

土木建設課長 町の個々の観光スポットだけではなく、そこに至るまでの観光おもてなし道路として一体的に美観活動を図る必要があると考える。

今後共、転石等の除去工事に合わせて利用者の安全確保を第一に道路維持管理者として適切に判断し対応していきたい。

**地区の農業振興に
ついて**

答 第二次美浜町農業基本計画に基づき種々の施策展開中である。

問 近年、米価の低迷やコストの増加により農業経営が厳しい中、「後継者不足と少子高齢化」が進み担い手の減少と企業の定年延長も起因し、一次産業への従事者は、益々減少していくことから菅浜区では農家組合を中心に「農業を考える会」を立ち上げ、今

後の農地利用について区民に現状の思いや考えについてアンケートを実施した結果、今の親世代は10年後には約75%の方が水田耕作はやめると回答している。種々の問題解決と農地を守っていくための課題について町としての方向性についての所見を伺う。

産業振興課長 特定の集落に限られるものではなく、全国的な問題として認識している。

地域の特性を考慮しながら町の将来の農業の姿と課題解消のため「地域を支える人づくり・未来に繋ぐ営体の育成」、みんなが集う村づくり、美味しい農作物の魅力づくりの実現に向け、認定農業者、新規就農者、小規模兼業農家を含めた営農支援に取り組んでいるところであるが、更に地域と行政が両輪となって取り組んでいきたい。



三方五湖 レインボーライン 春の訪れ

湖びらき

山びらき

4月1日レインボーライン山頂公園で「三方五湖開き（山の神事）」、4月12日にレイクセンターで「湖びらき」が執り行われました。若狭が誇る景勝地に観光シーズンの幕開けを告げ、春うららかな日和に多くの観光客が訪れていました。新幹線開業に向けて期待の高まるところです。

編集後記



2月臨時会と3月定例会が終わり、令和5年度の当初予算が決まりました。新しい年度が始まり、学校や職場で新たなスタートをきられた方が多いと思います。環境の変化に戸惑うこともあるかもしれませんが、議会として町民のみなさんを様々な形でサポートできるようにがんばりたいと思います。

「議会だより」は議会の見える化の一端を担うツールです。町民のみなさんに議会活動を知っていただき、議会を身近に感じてもらえることができるよう工夫していきたいと思っています。

(河本 猛)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 兼田 和雄
- 【副委員長】 中牟田春子
- 【委員】 竹仲 良廣・崎元 良栄
川畑 忠之・河本 猛
梅津 隆久